

【基本方針】

近年、少子高齢化や人口減少、単身世帯の増加といった社会構造の変化により、人と人とのつながりの希薄化、住民の孤立化が一層顕著に表れ、福祉ニーズの複雑化・複合化が進んでおります。こうした福祉ニーズに対応するため、地域住民や多様な主体が互いに支え合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会の実現」を目指し、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に進める「重層的支援体制」の構築は喫緊の課題となっています。

そこで、本会においては、令和6年度から名古屋市社会福祉協議会と連携し、包括的な相談支援体制の構築を図る「重層的支援体制整備事業」（市受託事業）を実施してきました。既存の仕組みだけでは十分な支援につながらない複雑化した課題を抱える世帯に対し、引き続き、様々な機関や団体、行政などと連携しながら支援していきます。

また、「第5次千種区地域福祉活動計画」の2年目である令和7年度は、区民の皆様への積極的な広報に努めるとともに、推進委員の皆様と協働し、計画的に実践していきます。実践に際しては、全学区の地域福祉推進協議会をはじめ、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業所、ボランティア、NPO、区役所などの行政と連携を図りながら、本会の理念である“誰もが安心して生活できる千種区”を目指していきます。



マスコットキャラクター
「ユーカリーナ」

1 「第5次千種区地域福祉活動計画」(第5次活動計画)の推進

「誰もが安心して生活できる千種区」を目指し、第5次活動計画(計画期間:令和6年度から令和10年度までの5か年)を、区民の皆様をはじめ、関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などと連携・協働しながら推進します。

活動計画の推進は、計画の3つの柱ごとの推進グループを中心に行います。推進グループは概ね2か月に1回打合せを行い、事業の実施や検討等を行います。3つの推進グループが集まる「全体会」を年3回開催し、第5次活動計画の進捗状況の確認や評価等を行います。



第5次活動計画推進グループのみなさま

取り組みの一例

(1)「つどい」グループ

つどいグループでは、地域参加や社会参加を促し、住民同士が心のつながりを感じられるような取り組みを引き続き実施してまいります。

①「ちくさボランティアフェスタ2025」

令和7年4月には、現在、千種区でボランティア活動中の方、これからボランティアを始めようと思っている方、ボランティアとつながりたい方の交流イベント「ちくさボランティアフェスタ2025」を、千種文化小劇場およびモビリティゲート吹上にて開催いたします。



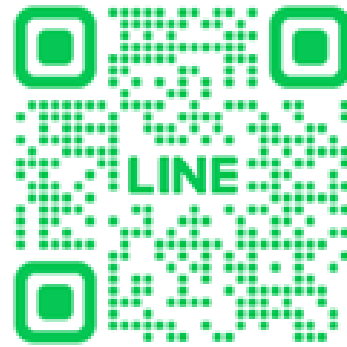
「ちくさボランティアフェスタ2025」
チラシ

②「千の種プロジェクト」

「千の種プロジェクト」では、認知症啓発につながるオレンジ色の花(マリーゴールド・黄花コスモス)をそれぞれの場所で育て、つながりを実感できるよう、SNSでの情報発信にも努めてまいります。



「千の種プロジェクト」植栽イベント



「千の種プロジェクト」
公式ライン開設

(2) 「はぐくみ」グループ

① 「子どもたちの学び応援広場」の開催

子どもたちのニーズを把握し、悩みごとの解決や成長につながる企画を実施します。また、子どもたちが学んだことを継続し、実施していく場所や発表できる機会を設けます。



しんぼスクール(千種児童館)での防災学習



しんぼスクール(千種児童館)での
学習結果をまとめた「防災パネル」

② 「スマートフォン講習会」の開催

高齢者の方向けにサロンやはつらつ長寿推進事業、地域支えあいを実施している学区で、大学生のボランティアに依頼し「スマホ教室」を行います。

また、子どもたちが安心・安全にスマートフォンを利用できるよう、親子などを対象とした講習会も行います。



スマートフォン講習会
(「はつらつ」星ヶ丘コミュニティセンター)

（３）「はたらきかけ」グループ

①「あったかお便り＆あったかＳＮＳ交流」の推進

地域との関りが薄くなった高齢者へ福祉情報紙などを届け、見守るとともに困りごとの解決を目指す「あったかお便り事業」を継続して実施します。

また、新たにＳＮＳを活用し、対象を全世代に広げます。

②「ふらっと立ち寄れる心の拠（よ）り所」の発掘・創設

生活のしづらさを抱える人々が、気軽に過ごしたり、相談したりすることができる居場所を確保します。確保にあたっては、生活に身近な場所にはたらきかけます。社会資源情報誌などを置き、人や情報が集まる居心地のよい環境づくりをします。



あったかお便りの送付物



在宅サービスセンター玄関に
飾られた利用者の作品

２ 「地域福祉活動」の推進

（１）「地域福祉推進協議会」（推進協）への支援

各学区に組織される推進協と連携し、地域の福祉課題解決に向けた取り組みを行います。住民同士の交流を深める「サロン」をはじめ、「ふれあい給食サービス事業」「ふれあいネットワーク活動」などの活性化に向け、従来どおり、各学区ごとに担当職員を配置し、きめ細やかな支援にあたります。また、推進協構成員を対象とする研修会の開催をはじめ、名古屋市社会福祉協議会などが主催する研修への参加をとおして、各学区の推進協の活動の活性化に努めます。

（２）「地域支えあい事業」への支援 **市受託事業**

住民同士の助け合いによる困りごと解決などを目指す「地域支えあい事業」の実施学区拡大を目指し、各学区の会合などに出向き、働きかけます。

また、本事業に取り組む6学区（千石・内山・春岡・自由ヶ丘・富士見台・千代田橋）の事業活性化に向け、ご近所ボランティアを対象とした「研修会」や新たな担い手確保を目指す「養成講座」を開催するとともに、本事業の認知度向上を目指し、地域のイベントや会合に参加し、広報活動に努めます。



令和6年度地域支えあい連絡会議
(千代田橋学区)



令和6年度地域支えあい研修
(自由ヶ丘学区)

(3)「高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」の推進 **市受託事業**

①「高齢者ふれあい・いきいきサロン」(サロン) への支援等

仲間づくりや介護予防などを目指す「サロン」の活性化を図ります。認知症やフレイル予防などの知識を深める学習やサロン運営上の情報交換を行う「サロン運営者育成研修」(3回)をはじめ、サロン参加者の増加に向け、「サロンマップ」の発行、区民まつりや地域イベントなどでの「サロン出張説明会」を行います。

また、子ども食堂の運営者を対象に「子ども食堂交流会」を年1回開催し、子ども食堂運営者のつながりづくりを支援します。

②「生活支援連絡会」の開催

地域住民が安心して生活できるよう支援することを目的に、あらゆる世代の生活課題の検討に向けて、生活支援サービスの充実とサロンの質・量の拡充に向けた方策を協議・実践します。(年2回開催)

(4)「高齢者はつらつ長寿推進事業」(はつらつ事業)の実施 **市受託事業**

高齢者などの介護予防や仲間づくりなどを目指す「はつらつ事業」を、コミュニティセンターなどの8会場で実施します。

また、事業参加終了後、参加者が地域活動やボランティア活動につながるよう、きめ細やかな相談と支援を行います。

（５）「寝具クリーニングサービス事業」の実施

布団を干すことが困難な６５歳以上のひとり暮らしの方などを対象とした「寝具クリーニングサービス事業」（１１月以降）を実施します。民生委員のみなさまの協力をいただき、高齢者の生活環境の向上と高齢者の見守り活動を支援します。

（６）「キラキラ☆サンタ事業」の実施

「花水木鯨城会」（高年大学鯨城学園卒業生で結成）などの協力をいただき、民生委員の皆様が中心に取り組む子育てサロンや保育園などへサンタクロースやトナカイを派遣する「キラキラ☆サンタ事業」（１２月）を行います。本事業をとおして、子育て世代の意見・要望などの把握に努めながら、今後の子育て支援活動に活かします。



お母さんたちも大喜びの「キラキラ☆サンタ事業」

（７）「名古屋市いこいの家事業」の実施 市受託事業

言葉や心身の発達の遅れが気になる子どもとその保護者を対象に、千種児童館などで親子遊びや相談会などを行い、保護者の不安や悩みの解消、保護者同士の仲間づくりを行います。

（８）「福祉関係団体等」への支援

共同募金の配分金を財源に、高齢者福祉活動（学区敬老事業助成、ふれあい給食事業助成など）、障がい児・者福祉活動（手をつなぐ育成会が行う福祉活動への助成など）、児童・青少年福祉活動（子ども会活動、学童保育活動への助成など）、住民全般福祉活動（推進協あんしん事業助成など）などへの事業助成を行います。

3 「ボランティア活動」の推進

(1) 「ボランティアセンター」の運営

ボランティア活動の推進拠点として、ボランティア活動に関する各種相談、情報提供などを行う「ボランティアセンター」を運営し、ボランティア活動の促進を図ります。

(2) 「ボランティア」への支援

「千種区ボランティア連絡協議会」(ボラ連)と協力し、子どもたちの学習支援や交流企画を行いながら、新たなボランティアの確保を目指します。

また、在宅サービスセンターのボランティアルーム、研修室、調理実習室などの場所の無償貸し出しと各種相談に応じながら活動を支援します。

(3) 「福祉教育」の実施

ボランティア団体などと連携し、小・中学校や地域に出向き、高齢者疑似体験やアイマスク体験、障がいのある方との交流を図りながら、子どもたちの福祉に関する理解促進とボランティア活動への参加促進を目指します。



ボラ連が行う学習支援事業
「しんぼスクール」



「車椅子体験」

(4) 「各種養成講座」の開催

ボラ連などと連携し生活支援ボランティアなどの確保に向けた養成講座を開催します。

(5) 「災害ボランティア」などとの連携

災害ボランティアちくさネットワークと連携し、大規模災害発生時に名古屋市からの要請で設置する「災害ボランティアセンター」の運営訓練を実施するとともに、区総合水防訓練、区総合防災訓練へ参加します。

また、商店街や地域イベント、学校などに出向いての防災啓発を行うとともに、区役所や企業などと協働し「ぼうさいカフェ」を定期的を開催するなど、防災に関する啓発活動を行います。



親子が参加し毎月開催される「ぼうさいカフェ」（トヨタモビリティゲート吹上）

4 重層的支援体制整備事業（重層事業）の実施 市受託事業

既存の介護、障がい、子ども、生活困窮の相談支援機関等の取り組みを活かしながら、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な相談支援体制を構築するため、本会におかれる包括的相談支援チームが中心となり、様々な機関や団体、行政と連携しながら、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの柱を一体的に行います



重層的支援体制整備事業
つながりづくり拠点
「覚王山ランチ」

5 「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

（1）本会広報紙「はなみずきのまちだより」の発行

区民の皆様に有益となる福祉情報を掲載した広報紙を年3回発行（7・11・3月）します。在宅サービスセンターをはじめ、区役所、コミュニティセンター、福祉情報配置店（※）などに配架するとともに、各学区の回覧板でお届けします。

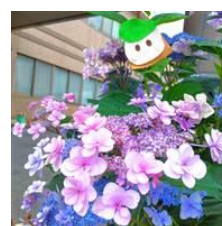
※福祉情報配置店は、第4次活動計画の取り組みで、本会広報紙などの福祉情報紙の配架にご協力いただいているスーパーや病院などです。区内に149ヶ所（令和7年2月末現在）あります。

（2）「ホームページ」「Instagram」の運営

ホームページは、常にタイムリーな情報発信に努めるとともに、Instagramは地域イベント情報やボランティア情報などを定期的に発信します。



「福祉情報配置店」
（春岡コミュニティセンター）



フォロワー4,250人を超える「Instagram」

（3）「ユーカリーナ」を用いた広報

第4次活動計画策定時に誕生した本会マスコットキャラクター「ユーカリーナ」は、Instagram、各種パンフレットなどで、本会の知名度向上に一役買っています。

また、ユーカリーナを助け出す「救出ゲーム」や「ユーカリーナガチャガチャ」に加え、毎年作製する新たな「ユーカリーナグッズ」を用いて地域イベントなどに出向き、福祉情報の発信に努めます。



新たにペットボトルカバーとネックストラップを制作しました

（4）賛助会員の募集

町内会・自治会をはじめ、民生委員の皆様などのご協力をいただきながら、本会が取り組む各種事業の財源基盤となる賛助会員を募集します。

【参考】個人1口500円 法人・団体1口5,000円



（５）赤い羽根共同募金（共同募金）運動への協力

千種区共同募金委員会の事務局を運営し、共同募金の周知・広報に努め、町内会や自治会をはじめ、民生委員の皆様などのご協力をいただきながら運動を進めます。

また、企業・各種団体への募金依頼をはじめ、地域イベントや街頭での募金活動、ユーカリリーナグッズを活用し、募金の増強に努めます。



日泰寺「縁日」での街頭募金



区民まつりでの街頭募金

6 「生活福祉資金貸付事業」の実施

愛知県社会福祉協議会から業務を受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯などに対し、民生委員の皆様をはじめ、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター、行政機関等と連携し、資金貸付と援助指導を行うことで、援助世帯の安定した生活基盤の確立を目指す生活福祉資金貸付事業を行います。

7 「デイサービスセンター」の運営

利用される方の心身機能の維持やご家族の介護負担軽減などを図るため、通所介護事業を実施します。健康チェックをはじめ、入浴、昼食、レクリエーション、口腔ケア機能向上事業などを行いながら、利用される方の自立した日常生活の維持・向上に努めます。また、昼食はボランティアグループ「はなみずき」の協力のもと、愛情たっぷりの“手作り料理”を提供します。



愛情込めて料理を作る
ボランティアさん

8 「都福社会館・千種児童館（なごホーム）」の管理運営 指定管理事業

令和7年度から令和11年度までの5年間、引き続き本会が指定管理者として管理運営を行います。

（１）福祉会館の主な実施事業

- ①生活、健康相談などの相談事業
- ②教養の向上及び趣味・レクリエーションに関する事業
- ③機能回復訓練
(リハビリ体操、健康体操、リズム体操、筋トレッチ体操)
- ④健康づくり事業（医師の健康講話、音楽療法等）
- ⑤仲間づくり、憩いの場の提供（同好会活動、入浴事業等）
- ⑥名古屋市北部回想法センターの運営
- ⑦高齢者サロンでのレクリエーションなど地域と連携した事業
- ⑧認知症予防事業 市受託事業



「くらぶ6・5（認知症予防教室）」での
認知症予防リーダーによる回想法

（２）児童館の主な実施事業

- ①子どもの育成活動（多様な企画、季節行事等）
- ②子育て支援活動（ベビーマッサージ、育児相談等）
- ③地域福祉促進活動
- ④留守家庭児童健全育成事業
- ⑤中高生の居場所づくり事業
- ⑥移動児童館などの地域と連携した事業



ちびっこクリスマス会

9 「名古屋市社会福祉協議会事業」への協力

(1) 「千種区西部いきいき支援センター（地域包括支援センター）」への協力

- ① 区域の地域包括ケアシステムの構築
 - ア) 区地域包括ケア推進会議 事務局の運営協力
 - イ) 区地域包括ケア推進会議 認知症専門部会の運営協力
- ② 高齢者に関する相談事業（総合相談・権利擁護）
- ③ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
- ④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援
 - ア) 民生委員と介護支援専門員の情報共有同意書の運用
 - イ) 介護支援専門員向け講座の開催 ウ) ケアマネサロンの実施
- ⑤ 高齢者見守り支援事業の実施
- ⑥ 認知症の人を介護する家族支援事業の実施
- ⑦ 認知症地域支援推進員との連携
- ⑧ 認知症サポーターの養成・活動支援
- ⑨ 認知症カフェの開設・運営支援
- ⑩ 認知症初期集中支援チームの設置
- ⑪ チームオレンジ（認知症の人が住み慣れた地域で本人が望む生活を続けていけるよう、本人や家族の支援ニーズと認知症サポーターの支援をつなぐ取り組み）との連携



「チームオレンジ」と地域福祉活動計画、地域支えあい事業との連携事例（認知症本人宅カリネードづくり）

(2) 「千種区介護保険事業所」への協力

- ①訪問介護（なごやかヘルプ）事業の実施
 - ア) 高齢者への訪問介護・介護予防訪問介護事業の実施
 - イ) 予防専門型訪問サービス（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施
 - ウ) 障がい者等の居宅介護事業・移動支援・同行援護
 - エ) 産前・産後、ひとり親、養育支援などの家事介護サービス
 - オ) 制度では対応できない外出支援、通院介助などの生活応援サービス
- ②居宅介護支援事業の実施